

も発表した。「うさこ」の
のだいすきなおばあ
「では、祖母が亡くな
埋葬される。うさこ
はお墓に花を供え、心
に生きていることを感じ
た。「うさこちゃんときゃ
る」は、お店で売られて
お菓子はどうしても欲し
、そっとポケットに入れ
まう話。翌日、おかあさ
謝りに行く。愛らしさだ
はなく、物語の深さも読
ころ。

寄り添う内容

ランダの文学に詳しい翻
の野坂悦子さんは「死は
に起こること。うさこ
ったらどう行動するだろ
、ブルーナさんは考えた
と思います。キャラメル
も真の意味で子どもの成
寄り添うものです」と指
ている。

円で、博物館の姉妹館提携20
人の周年を機に開催され、
歴史博物館の所蔵品な
られどを紹介する。李氏は
「記念展に協力してい
ただけることに感謝し
たい」と述べ、記念展
に合わせ、石川県と全
羅北道が連携して交流
イベントを実施するよ
う求めた。李氏らは、
5月1日まで県内で文
化財調査の現場と文化
施設を視察する。

たけじゃやない



入荷
品薄
「金沢の「当地ラー油
を手に取る買い物客
金沢市内のスーパー
が限られていたラー油
が万能調味料として脚
光を浴びている。
ブームのきっかけと

玉川こども図書館
来館者30万人達成
金沢

金沢市立玉川こども
図書館で27日、来館者
が30万人に達し、節目
の入館者となった高田
遥空ちゃん(1)と同市
神田2丁目2に認定
書と記念品が贈られ
た。
同館は2008(平
成20)年11月に開館し
た。記念セレモニーで



は、岡朝子館長が「す
べての子どもが心に残
る一冊の本と出合える
商店街とおかみさん会
から、同館のマスコ
ットキャラクター「う
めたま」をあしらった特製バ
ッジや花鉢などが
贈られた。
認定書を受け取る
高田さん親子
27日午前10時40
分、金沢市立玉川
こども図書館

顧客の中国事業支援

北國、大連銀が業務協力

北國銀行は27日、金
沢市のホテル日航金沢
で取引先企業の中国
で、中国・大連市の大
連銀行と業務協力の覚
書を締結した。情報交
が現地を訪問し、経済



業務協力の覚書を交わす安宅頭取(手前右)と
王行長(同左)
—27日午前10時20分、金沢市内のホテル

事情の把握や進出企業
を視察する予定であ
る。
調印式で安宅頭取は
「中国でビジネスチャ
ンスを見つけたという
需要が増えている。
6月には安宅建樹頭取
が現地を訪問し、経済
あいさつ、大連銀行の



「人材育成に尽力」
中山金城大短大
部新学長が来社
金城大短大の中山
治男学長(写真)は27
日、新任あいさつの
ため北國新聞社を訪
れ、「しっかりとし
る」と抱負を語
った。
クラス担任制を中心
に、一人一人と向き合
う教育と丁寧な指導を
継続し、安定した定員
確保へ短大
の魅力を維持
するとした。
本野博茂短大
部総務部長が
同行した。

規格外 5割引

白山の店舗

天候不順などによる
野菜価格の高騰を受
け、ユニー(愛知県稲
沢市)は27日、全国の
アピタ8店で、形がふ
ぞろいなトマトなど規
格外野菜の販売企画を
行った。白山市幸明町
のアピタ松任店では、



主婦らが通常価格の3
5割引きの野菜を手
に取り品定めした。
1本138円の形が
いびつなダイコン、5

なつたのは、桃屋が
発売した具入りラー
油。揚げたニンニク
やタマネギなどが入
り、これまでなかった
食感や使い道の広さが
人気を呼び、他社も同
様の商品を販売し始め
た。
東京ストアーによる
と「入荷がいつにな

王勤平行長は「幅広い
協力関係を築き、成果
を上げたい」と述べた。
県日中友好協会の古
賀克己氏らもあいさつ
した。
北國銀行は、行員の
研修派遣も想定してい
る。同行が海外の金融
機関と提携するのは4
件目で、中国の地方銀
行が日本の地銀と提携
するのは初めてとい
う。

高岡で人身事故
特急など8本運休
JR北陸線

27日午前7時33分こ
ろ、高岡市のJR北陸
線西高岡―高岡間で起
きた人身事故の影響
で、金沢発越後湯沢行
の特急「はくたか7
号」など特急4本と普
通列車4本の計8本が
運休した。泊発金沢行
きの特急「おはようエ
クスプレス」など特急
8本と普通列車17本の
計25本が最大1時間34
分遅れた。約8千人に
影響が出た。
北陸大に是正勧告
金沢労基署

た人間教育と、地域
のニーズに応じた人
材育成に取り組んで
いきたい」と抱負を語
った。
クラス担任制を中心
に、一人一人と向き合
う教育と丁寧な指導を
継続し、安定した定員
確保へ短大
の魅力を維持
するとした。
本野博茂短大
部総務部長が
同行した。

規格外野菜を品定めする
買い物客27日午前10時
半、白山市幸明町のショ
ッピングセンター

切れた。売り場担当者
によると、通常販売の
野菜と鮮度や味は変わ
らないという。
同市橋下町の主婦芝
田富美子さん(71)は
「形が悪くても料理し
てしまえば一緒。安く
て家計が助かる」と話
した。

るファンが少なくない
という。

墓碑銘

県内の人

笹野 安彦氏(ささの・やすひこ)氏(株)金沢
自動車取締役相模原 笹野由彦同社代表取締役
社長(父)26日死去、66歳。自宅は金沢市
南塚町91。通夜は27日午後7時から、葬儀は
28日午前10時から、いずれも同市保古3の10、
ピースフル金沢。喪主は長男由彦(よしひ
こ)氏。創業者であり、魚釣りが好きだった。

購読・転居のご連絡は
フリーダイヤル
0120-367-464
☎260-3422
北國新聞
http://www.hokkoku.co.jp/

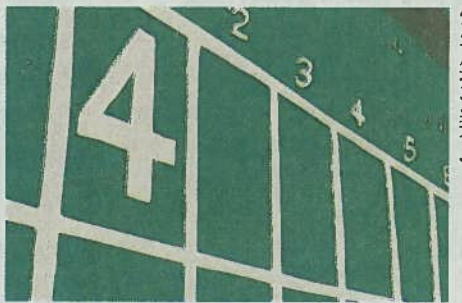
ルネヴェルト・ゲーム

池井戸 潤 195

第六章 六月の
死闘 (十)

一回表のスコアボードに掲げられた数字
を、スタンドの細川は遠く眺めた。
四点。
重すぎる数字である。
「初回から点差が開いてしまったなあ」
応援席の最前列にいて、のっけから敗色
の気配が漂い始めた試合に細川は落胆して
いた。

誰にいったわけではない。ただ細川の周
りにいた応援の社員たちに洩らした言葉だ
ったが、「まだ一回表が終わったばかりで
すから」、と即座に返事があったのは驚
いた。
そいつは、櫛包課の長門である。
試合前の応援練習でチャリダーたちに
混じって観客席を沸かせていた長門は、試
合が始まってからは若手男子社員に役割を
譲って近くの席で試合を見ていた。
点を取られた後も続投している猿田が、
いまようやく三人目のアウトを取って、長
い守備から選手達が一塁側ダッグアウトに
戻ってくるところだ。
拍手で迎える。
「これから、これから」
そんな声援が飛ぶ。



フジモト・ヒデト・画

振り返って見た観客席はまだ一回とい
うこともあろうが、試合前と同じく遅れてき
た社員たちも合流してさらに数が膨らんだ
ように見える。
「こんなにたくさん」
細川にしてみれば、いったいいつの間
に、と思わせる予想外の野球部人気である。
「いつもこんなに、来るのかね」
右隣の席にかけている社長秘書の仲本有
紗に、細川は尋ねた。

実は、有紗がこの日野球部の応援に来て
いることは知らなかった。さっき球場の入
り口で出会ったのは偶然である。ひとりで
来たというので、一緒に観ることにしたの
だが、
「実は私も初めてなんです」
「初めて？」
細川は予想外のこたえに目を丸くした。
「ええ。応援団の友達から応援に来てって
いわれたので、暇だし、来てみたんです。
野球部に頑張ってもらえば明るい話題にな
ると思います」
「そっだったのか」
事情は細川と似たり寄ったりである。